

八幡台二区だより

平成 27 年 12 月発行
八幡台二区自治会
広報部

自治会の運営



二十七年年度会長 浦田 敏昭（十一組）

八か月間、会員皆さんの協力を得て、微力ながら自治会の運営に当たってまいりました。自治会各部とも評議員各位の活動により年間通常行事は、会員皆さんの参加も多く、概ねコミュニケーションに役立っていて、当地区の生活環境は良好を保っていると思います。これは、自治会運営の先輩が築き上げた、活動内容の継承がうまくいっているからだと思います。ただし、私の能力不足もあり、数年来の課題として、四月の信任挨拶で緊張したように、会員の高齢化・一人暮らし・空地・空き家の増加・子ども会・防災会などの対策は見いだせないうです。

親睦会で感じたことですが、ただの昼食会でしたが、非常に話が盛り上がっていました。これは過去に自治会活動を共にやったことで、普段会う機会が少ないにも関わらず、自治会のコミュニケーションは良好に保つてきてきているからだと思いました。気になったのは親睦会の出席者が、女性85%で、これは自治会活動の現状を表しているものではないでしょうか。

特に、仕事をリタイヤされた男性には、自治会活動に参加し人生経験を生かして頂けると、地域の発展に寄与できるものと思います。

【防災会について】
阪神淡路大震災、東日本大震災、近くは常総水害等の災害が発生していますが、防災会が災害発生後、直ちに対応出来た例はほとんどないようです。何故でしょうか？
検証結果によると、ご近所の助け合いが一番有効な対処方法であったようです。

八幡台二区自治会として、実際に災害が発生したとき、どのように防災本部を立ち上げ、自治会員は何をすべきかなど概念的に書かれています。自助から共助への繋がり、防災会になにを期待されているか、期待に応えることが出

来るか、防災役員⇨評議員はどのような行動を起こすことが最善か等々、具体的なことをイメージして防災会組織を考えることが重要かと思えます。

災害発生時の被災行方不明者の生命維持の限界は、72時間といわれています。そのため、防災本部を早急に設置し、被災情報を集めて自治会全体の組織的な救援対策を行うことが必要と思えます。

災害時は防災役員も自治会員で、被災環境は皆さんと同じです。防災会の役員だけの現在の組織では、いざというときに対処が難しいことが予想されます。

そこで、まず自助対応、次にご近所の助け合い、それに防災会（共助）の支援を加えた、繋がりのある流れをつくり、現状環境変化に対応した行動が出来るように考えて、防災対応マニュアルに災害発生時の初期行動要領を追加提案したいと思っています。

誰でも年齢に関係なく、被災した場合の対処ができるよう**当事者意識を持つていただくことが重要です。**

・自宅内に避難場所を決めて、電気火災事故、家具の転倒防止対策等により防災基地化する。

・日頃の互近助けあいをして頂くことで、災害発生時の防災会の活動につなげる。

本年、新しい「伊勢原市総合防災ハンドブック」が各家庭に配布されました。これと同じように、当自治会の防災対応マニュアルも、自助の重要性について多くのページに記載されています。自助努力あれば防災会の共助活動も、うまく出来ると思いますので、ぜひ読んで自助対策に役立ててください。

白熱討議



副会長 塚本（十組） 安岡（十九組）

いま、評議委員会は、「今の時代に合った、分かり易い、役立つ防災対応マニュアル」にしたいとの「会長抱負」による「改訂」提案について、検討が進められています。提案の仕方が評議委員に分かりにくいことがあり、総会

で皆さんの理解を得るためには、「簡潔、分かり易い」提案法にすべきと検討を重ねています。

「討議では「目的はいいが、そこまでしなくても良いのでは？」とか「決まった後の運用に心配がある」などの意見があります。

自治会は、近隣による共生・共助を目的としています。それ故に、「個人情報」の扱いには、「慎重な制度」が求められています。一年制のボランティアともいえる評議委員は、各々の事情と、できる範囲があります。評議委員会は本音の発言をしていただくため、時に全員一人ひとりに発言を求めて、「総意の集約」に努めています。

四月以来、討議が九時を過ぎることが多く、進行役として反省しています。評議委員、皆様のご協力に感謝しています。

会計係より



井手（二組） 金崎（二十一組）

先日は下半期自治会費、寄付金へのご協力ありがとうございました。

寄付金は社会福祉協議会に納付いたしました。

総額は以下の通りです。

赤い羽根募金 七万三千百円
年末助け合い募金 七万二千九百円

広報係より

林（十八組） 小野（十五組） 牧野（二十三組）

今年度の行事は参加者が多く、特に体育祭は元気な子どもたちの参加もあり、係としてとても楽しく写真を撮らせていただきました。ご協力ありがとうございました。

広報係の仕事は、総会資料作りや、名簿の変更箇所のお知らせなど、これからは本番となりますが、今後もご協力をお願いいたします。



保健体育係より

高橋（十六組） 櫻井（十四組）
志村（四組） 宮島（十三組）



八月二十二日（土）に開催された竹園学区夏祭り、および十月十一（日）に開催された第四十三回竹園学区体力づくり体育祭についてご報告します。

夏祭りの日は天候にも恵まれ、夏祭りらしい一日になりました。役員は朝から汗だくになりながら竹園小学校の校庭で開催の準備をしました。今年は何年より一時間早い午後五時開始でしたが、開始当初より多くの方々に足を運んで頂きました。八幡台二区は今年も飲み物の模擬店を担当しましたが、気温が高かったこともあり、売れ行きは大変好調でした。

一方、体育祭の日は朝からあいにくの雨となり、会場を竹園小学校の校庭から体育館に変更し、プログラムも一部変更しての開催となりました。雨にもかかわらず、多くの方々に参加いただき、八幡台二区も約六十名の方々にご参加いただきました。体育祭の種目では、八幡台二区は地区対抗ムカデリレーにおいて、午後の決勝では惜しくも敗退してしまいましたが、午前の予選では堂々の一位を獲得し、大変な盛り上がりを見せました。また、地区対抗大縄跳びでは、優勝決定戦で惜しくも敗れはしたものの二位を獲得しました。そして、総合でも八幡台二区は二位と輝かしい成績を収めました。八幡台二区は昨年の体育祭も総合二位でした。来年こそは総合一位を目指して頑張りましょう。

最後に、竹園小学校の先生方にはさすがのパフォーマンスを発揮していただき、体育祭を盛り上げていただきました。ありがとうございました。



防犯防火係より

原（五組）板倉（二十二組）
蒔田（三組）米山（九組）



防犯防火係では、月一回の八幡台二区内防犯パトロールと年数回の防災倉庫内点検を行っております。防犯パトロールでは、八幡台二区内のパトロールと防犯灯の確認を行っております。参加者は、自治会長・副会長・防犯防火係と八幡台交番警察官、各係の評議委員にも参加いただいております。防犯灯が切れた際は順次、LEDに切り替えて

おります。
防災倉庫は八幡台公園内に設置されております。備品の多くは経年劣化により使用できないものが複数見受けられます。使用できないものは順次交換を行っております。今年度の予定として、年度内に防災時の救助活動を目的に二区防災訓練を予定しております。多くの方の参加をお願いします。
これからも防犯パトロールと防災備品の点検を通じて、安全安心で住みよい八幡台二区作りに努めていきたいと思っております。

福利厚生係より

森下（十七組） 都築（六組）



福利厚生の主な事業であります、敬老の日の記念品と親睦会について、ご報告申し上げます。
九月十五日敬老の日には、昨年通り、イトー・ヨーカドーのギフト券を用意し、各ご家庭を訪問して長寿をお祝いいたしました。

十一月十二日の親睦会は三十四名の参加者があり、伊勢原市ポポロ広場アルペロベッコで、イタリア料理を堪能しました。珍しい数々のお料理に舌鼓を打ち、皆さんのお顔に満面の笑みがこぼれていました。

「袖ふれあうも多生の縁」で、初めての方・顔見知りの方等が、同じテーブルで賑やかに談笑され、二時間ほどがあっという間に経過し、親睦を深めることができました。次回も、このような機会がありましたら、ぜひ皆様にお会いしたいと思います。

環境衛生係より

瀧澤（二組） 阿部（八組）
柴田（十二組） 門倉（二十組）

六月と十一月の公園清掃と花植栽、そして九月の市民総ぐるみ大清掃には多くの方に御参加いただき、ありがとうございます。皆様のご協力により、きれいで過ごしやすい公園が維持出来ますこと、感謝申し上げます。三月には市民総ぐるみ大清掃が予定されていますので、引き続きのご協力をお願いします。

十二月までに二度、ポイ捨て防止のためのパトロールを八幡台二区内で行いました。相変わらず、小動物の排泄物の放置が改善されておらず、前回は見かけなかった別の場所で見つかる、というケースがありました。その場所にお住まいの方々の気持ちを考えていただき、引き続き、排泄物の持ち帰りにご協力をお願いします。



転入

六組 鍋島 一毅様
十三組 上野 真吾様

転出

六組 吉川 和様

訃報

十九組 高田 宏造様
二十一組 小林 しげ子様

お知らせ

評議委員の交代

副会長 十九組 高田 宏造様

変更後 副会長 十九組 安岡 豊治郎様

